

2024年度 細チーム取り組み報告

当デイケアでは、約5年かけ口腔・嚥下に取り組んできました。

取り組み当初は、誤嚥性肺炎の予防を目的に開始しましたが、毎年課題がみつかり、言語聴覚士、歯科衛生士からの勉強会を行うことで、スキルの向上を図ってきました。

その結果、今年度は『誰もが統一したケアが出来るシステム作り』が完成しました。

① ケアポイントリストの作成

氏名	分類	特 記
堀川〇子	②	残歯ブラッシング声掛け必要。
堀〇太郎	⑤	うがい可能だが吐き出し不十分。
川〇花子	④	右上義歯、外しにくさあり。

観察ポイント

- ・ブラッシング方法
- ・義歯・残歯の磨き残し
- ・舌の汚れ

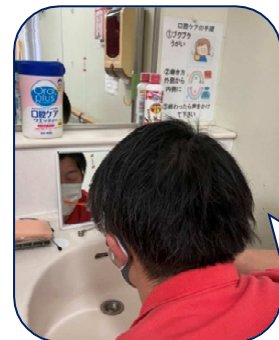
口腔機能向上加算を算定する利用者様には、2ヶ月に1度新しい歯ブラシを提供しています。

② 分類チェックシートを元に利用者様を振り分ける

口腔ケア評価表

- ①義歯なし→うがい出来る→自分で磨ける
- ②義歯あり→自分で外せる→うがい出来る→義歯・残歯を自分で磨ける
- ③義歯なし→うがい出来る→介助必要
- ④義歯あり→自分で外せる→うがい出来る→義歯・残歯介助が必要
- ⑤義歯あり→介助で外す→うがい出来る→義歯・残歯介助が必要
- ⑥うがい出来ない→残歯介助が必要

③ 各歯ブラシに①～⑥のシールを貼る



利用者様が見ている小鏡を実はスタッフも見えています👁️

統一したケアの実地

課題のある利用者様をピックアップし、
ご本人、ご家族へ共有し、ホームケアに繋げる

3ヶ月に1回、日々の観察を元に再評価を行う

5つの取り組み効果

- ①利用者様の誤嚥性肺炎での入院が減りました。
- ②ケア不足の所を鏡で見てもらう事で、利用者様の意識の向上に繋がりました。
- ③新人スタッフでも、すぐに援助が出来るようになりました。
- ④家族様への発信でホームケアに繋がりました。
- ⑤勉強会をする事でスタッフのスキルアップが出来ました。

**歯ブラシの番号を活用することで利用者様の改善を共有
することができ、スタッフのモチベーションアップに繋がりました。**

2024年度 綴チーム取り組み報告

『好きこそモノの上手なれ』をキーワードに「これやりたい」の声を、ご利用者様やご家族様からの情報を元に【ヤル気】を引き出せるようなプランを一緒に考えてきました。

みんな元気で長生きしたい
できない事も増え、人と関わるのも億劫に・・・
でも、やっぱり自分らしく人生を楽しみたい♪



その一歩を踏み出すきっかけ
『生きがい』へと繋がるプラン作りをサポート！！

☆事例

「登山が好き」



今は登ることが難しいと話される。
ご本人の好きを現実に近づけるための
プログラムを一緒に考える。

万歩計を利用し、歩いた距離を計算し
登りたい山「鳥取の大山」に挑戦。

開始してしばらくは、万歩計を付けてもら
うのを待っていたが、自己実現への目標
に対する意欲が出てからは、ご自身で万
歩計を付けられ歩数も増えることが出来
た。

手先を動かして物を
作るのが好き



目も悪くなり、根気も無くなってきた。
ご本人の好きを現実に近づけるための
プログラムを一緒に考える。

独りではなく、ご利用者同士で一緒に取り組み、出
来ないところをお互いに協力し、四季を感じられ
る装飾に挑戦。

デイケア内の展示装飾からクリニックほりかわ一階
に展示を変更することにより、社会参加へと繋げ
ることが出来た。

☆取り組みを終えて

- ①作品や取り組み風景写真を自宅に持ち帰っていただく事で、ご家族とご本人との会話のきっかけにできた。
- ②ご自身の好きなことに挑戦することが、主役体験に繋がった。
- ③得意なことを教えることが、誰かの役に立っている喜びとなった。
- ④「できない」ことに目を向けるのではなく、「できる」ことをご利用者と一緒に見つけることで、その人らしさを大切にできた。

※『生きがい』に繋がるアプローチ『好きこそモノの上手なれ』が活かせた取り組みとなった。

★今後の課題

ご利用者自身の心の変化や、取り組んでみた感想などを細かく聞き取りを行い、チーム間で情報を共有できなかったこと。万歩計をご自身で付けるようになった心の変化やきっかけ、道路に面した一階に展示するようになってから通る人の反応などご利用者にフィードバック出来ていなかったことが反省課題となった。